

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスみんなはなまる向陽町教室		
○保護者評価実施期間	2026年2月25日 ~ 2026年3月9日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17 (回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2026年2月25日 ~ 2026年3月9日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	高齢者と児童が同じ空間で過ごす	高齢者と児童は通常は別部屋で活動し、静かに過ごしたい高齢者の要望を保证しているが、季節のイベントや高齢者による寺子屋活動等で交流をしており、インクルーシブな支えあいを学ぶ取組みとなっている。	寺子屋活動が月に一度となっているので、頻度をあげていく。
2	スタッフに専門職がいるため、プログラム内容が多彩で充実している	高齢者担当を含め、スタッフは児童指導員を中心に美術教員(2名)、看護師、柔道整復師、ヨガインストラクターと専門職が充実している。巧技台を使用した運動療育、また不登校支援にも取り組んでいる。	専門性の高いスタッフの在籍を強みとして、今後は親子で参加できるイベントをさらに企画して行く予定。
3	高校卒業後に向けて社会性が見につく活動を提供している	部屋は区切られているが、高齢者と同じ空間で過ごすことにより、他児者との関わりの学びとなっている。就労支援施設や美術館、博物館、児童館等を利用することや係活動に取り組むことにより、コミュニケーション能力や社会性が見についていく。	より専門性を高めるための様々な研修への参加や情報共有をする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	デイサービスの利用者と同じ空間で過ごすため交流はできているが、児童部屋が狭いため日々の活動やレクリエーション活動に工夫が必要。	デイサービスでは医療ヨガを提供しているため、利用人数に関わらず一定の空間が必要となっている。そのため広いホールを高齢者が使用し、児童は小さい部屋を使わざるを得ない。	時間帯をずらして集団活動に取り組んだり、デイサービスの利用者との合同の活動を行うことによりお互いの理解を深めていくことが大切と考えている。
2	地域の子ども達との関わりが薄い	放課後児童クラブとの交流イベントに参加はあるが頻度が少ない。また児童館へ行き活動もしているが、保護者への認知が薄い。	活動の予定のみでなく、取り組みの報告も都度通信等でお知らせして行く。また地域の児童館や放課後児童クラブの交流イベントへの参加を、より推進して行く。